

令和6年度農業生産に係るプラスチック検討会 議事要旨

■ 第3回検討会の議事要旨は以下の通り。

1. 農業生産に係るプラスチック対策の課題抽出について

農林水産省より、資料1に基づき、農業生産に係るプラスチック対策の課題抽出について説明した。以下の意見、質疑応答があった。

- ・ 都道府県協議会が解散または機能停止した結果、同じ都道府県内であっても、農業由来廃プラスチックの処理費用に差が生じているケースがある。
- ・ 廃プラスチック処理業者が減少しており、都道府県をまたいだ廃プラスチックの収集ニーズが高まりつつあるが、廃掃法上は都道府県ごとに収集運搬業の許可が必要になる。
- ・ 農業用資材は回収・リサイクルを大原則にしつつ、生分解性資材に頼る部分とのバランスを考えてはどうか。

2. 「農業生産に由来する使用済みプラスチックの適正処理等に関する技術指導について」及び「園芸用使用済プラスチックの適正処理に関する基本方針」の要修正・検討箇所の抽出について

事務局より、資料2に基づき、「農業生産に由来する使用済みプラスチックの適正処理等に関する技術指導について」及び「園芸用使用済プラスチックの適正処理に関する基本方針」の要修正・検討箇所の抽出について説明した。以下の質疑応答があった。

- ・ 生分解性資材の更なる用途開発や技術開発が必要と記載すべきではないか。
- ・ リサイクルに対する国や自治体からの補助金を、生分解性資材の普及にも使えないか。
- ・ 電子マニフェストの活用等、どうやって事務処理の負担を軽減するかも考える必要がある。

3. 令和6年度農業及び食品産業におけるプラスチック削減に係る調査・分析委託事業のとりまとめ概要(案)について

事務局より、資料3に基づき、令和6年度農業及び食品産業におけるプラスチック削減に係る調査・分析委託事業のとりまとめ概要(案)について説明した。以下の意見があった。

- ・ マルチフィルムには除草剤の使用削減及び肥料流出削減という機能もあり、その結果として、農薬や肥料のプラスチック製容器の使用削減に貢献する。
- ・ リサイクルに必要なエネルギーも考慮した処理方法の比較が望ましい。